



犬や猫の

死がいを処理するには



〔こえ〕 先日も見かけましたが、犬や猫が自動車にはねられ、道路上でよく死がいを見かけます。誰も片付けようとしなないし、放置しておけば大変不衛生であるし、通行にも支障があります。

処理したいのですが、埋めるような適当な場所ありません。どうすればよいでしょうか。

(本市場 Nさん)

〔こたえ〕 犬や猫の死がいにつきましては、大淵の第1清掃工場(電

話35-0081)で焼却処理しております。自動車にはねられ死んでいる飼い主のはっきりしないノラ犬やノラ猫は、清掃工場へ電話していただければ、工場で処理するためとりに行きます。

又飼い主のはっきりしている犬や猫は飼い主が清掃工場まで持って来てください。この場合、処理手数料を一匹200円いただきます。

いずれの場合も土曜日の午後、日曜日は休みです。祭日は処理を取扱っています。(市清掃管理課)

グループ訪問⑫

美しいハーモニー

富士市少年少女合唱団

美しいハーモニーの歌声が流れてくる…。毎週水曜日、狭い会場に集まりドレミファのレッスンから日本のわらべ唄や世界の童謡など、ピアノに合わせて練習をつづけているグループがあります。

このグループは、「富士市少年少女合唱団」で、辻村典枝先生が指揮者に、いま団員は小学校1年生から高校生の幅広い仲間60人。この合唱団ができたのは、昭和49年5月、こととして丸5年目を迎えました。

当時は、市内になんとか少年少女合唱団を結成しよう…と同志が集まり、ようやく吉原市民会館の自主文化事業の一つとしてスタートしました。いまでは独立し、この間、コペンハーゲンで開かれた世界の青少年音楽祭に初参加したのをはじめ、立教大学グリーンクラブのジョイント



コンサートや、デンマーク、ルーマニア少年少女合唱団、ウイーンの森少年合唱隊などの地方公演に友情出演ができるまでに成長しました。辻村先生は「これからは団員だけでなく誰でも仲間に入って、みんなで唄うことができれば、こんなにすばらしいことはない…と、そして市民のみなさんに合唱団の歌をぜひ聞い

てもらいたい」と話してくれました。

又日頃の成果を発表するため、毎年市の総合文化祭には、かならず参加しています。

グループ活動を続けるには、悩みもあります。それは練習する場所です。多勢の団員が、練習するには広い場所が必要です。どこかありませんか、と辻村先生の言葉でした。